

ラジオ, ヒーター, エア・コンディショナーの使い方

ラジオ, ステレオの使い方.....	48
アンテナ.....	48
ラジオ.....	48
ヒーター, エア・コンディショナーの使い方.....	51
サイド・ベンチレーター.....	51
ヒーター.....	51
エア・コンディショナー.....	53
オート・エア・コンディショナー.....	55



ラジオ, ステレオの 使い方

■アンテナ

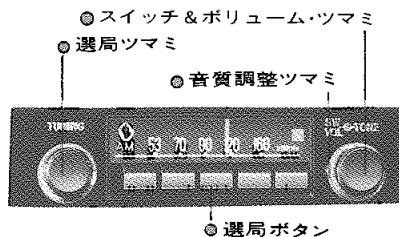
リヤ・ウィンドウ・ガラスにうめ込んであります。

アンテナ入りガラスの清掃は、ぬらした布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは使用しないでください

■ラジオ *

エンジン・スイッチが、ONまたはACCの位置のときにスイッチ&ボリューム・ツマミを押すと電源がはいります。

AMラジオ



<選局ボタンのセット>

1. 選局ボタンの1つを、いっばいに引き出します。
2. 選局ツマミで、ダイヤル指針を希望の局に合わせます。
3. 引き出した選局ボタンを、いっばいに押し込みます。あとはダイヤル指針がどこにあっても、このボタンを押せばセットした局が受信できます。他のボタンも、同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

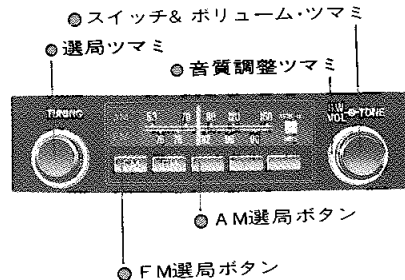
<音量調整>

スイッチ&ボリューム・ツマミを左右に回し、適当な音量に調整します。

<音質調整>

音質調整ツマミを左右に回します。

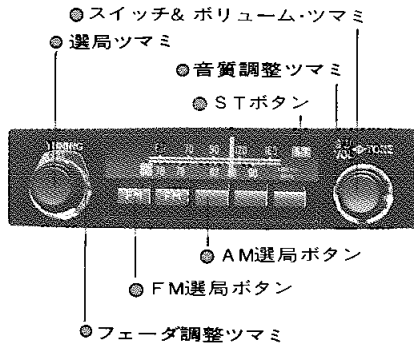
AM/FMラジオ



<選局ボタンのセット>

右側3つのボタンでAM3局
左側2つのボタンでFM2局
がセットできます。
他はAMラジオと同じです。

AM/FMマルチ・ラジオ



1. STボタンを押すと、ステレオ・インジケーター・ランプが点灯してFMステレオ放送を聞くことができます。
2. STボタンを、もう一度押すとFMモノラルになります。

〈フェーダ調整〉

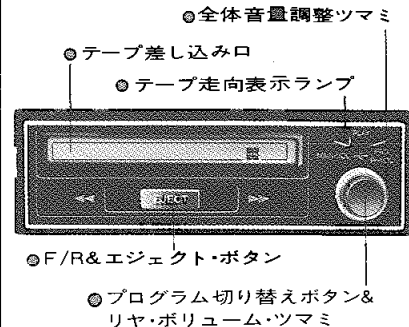
フェーダ調整ツマミを、右に回すとフロント・スピーカーの音量が増し、左に回すとリヤ・スピーカー（2個）の音量が増します。

〈FMステレオを上手に聞くには〉

ステレオで聞いているとき、ビル、山

の陰、電波の弱いところでは、シャーシャーと雑音がいり、ステレオ・インジケーター・ランプが点滅することがあります。この場合は、故障ではありません。次のように操作すると聞きやすくなります。

- 選局ツマミを雑音の一番少ないところへ合わせなおす。
- 音質調整ツマミを左へ回し低音にする。
- STボタンをもう一度押しモノラルにする。

AMラジオ付きカセット・ステレオ
AM/FMラジオ付きカセット・ステレオ

〈演奏開始〉

カセット・テープを差し込み口に、ロックされるころまでまっすぐ差し込んでください。テープ走向表示ランプが点灯し、演奏が始まります。このときラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく自動的に演奏が始まります。

〈音量、音質調整〉

1. 音量調整は、ラジオのボリューム・ツマミを右いっぱいに戻し、カセット・ステレオのリヤ・ボリューム・ツマミも右いっぱいに戻します。

2. カセット・ステレオの全体音量調整ツマミで全体の音量を調整します。フロント・スピーカーの音量が大きいときはラジオのボリューム・ツマミで、リヤ・スピーカーの音量が大きい場合はカセット・ステレオのリヤ・ボリューム・ツマミを左に回して小さくして、前後のスピーカーの音量を調整してください。

3. 全体スピーカーの音質は、ラジオの音質調整ツマミで調整してください。

＜プログラム切り替え＞

プログラム切り替えボタンを押すと、テープ走向表示ランプが切り替わり、テープ走向方向の切り替えができ、お好みのプログラムが選べます。

＜オート・リバーズ＞

テープ演奏が終わると自動的にプログラムが切り替わります。

＜早送り (FF)、巻きもどし (REW)＞

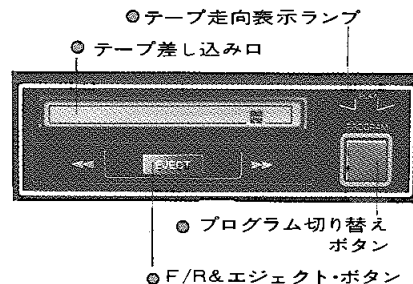
1. テープ走向表示ランプの点灯している方向と同じ方向にF/R&エジェクト・ボタンを斜めに押すと早送り、逆方向にF/R&エジェクト・ボタンを斜めに押すとテープの巻きもどしができます。
2. 解除する場合は、F/R&エジェクト・ボタンをもとにもどしてください。

＜演奏停止＞

演奏を停止させテープを取り出したいときはF/R&エジェクト・ボタンを強く押し込んでください。

カセット・テープが差し込み口に押し出され同時にテープ・プレーヤーの電源もOFFになります。

AM/FMマルチ・ラジオ付きカセット・ステレオ



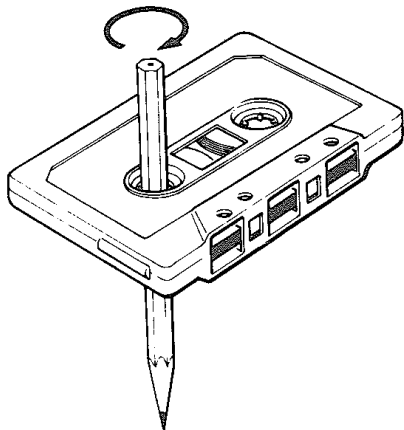
AM/FMラジオ付きカセット・ステレオと同じ取り扱いですが、スピーカーの音量、音質の調整はラジオで行ないます。

★C-120テープ、クローム・テープは使用しないでください。テープが巻きついたり、ヘッドの摩耗を早めます。

★演奏している状態で、エンジン・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。

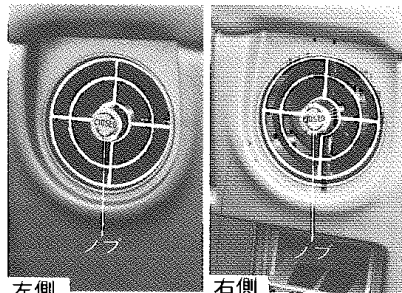
★テープはケースに入れ、直射日光やほこりをさけて保存してください。

★テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。



ヒーター、 エア・コンディ ショナーの 使い方

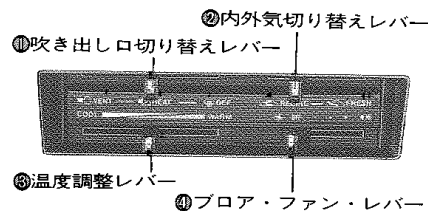
■サイド・ベンチレーター



ヒーターを操作することにより、ベンチレーター、サイド・デフロスターとして使用します。風向きは自由に調節できます。ベンチレーターをとじるときは、ノブを右に回してください。

■ヒーター

GRANDE車を除く



冷風（外気）と温風を混合して、好みの温風をえられるフル・エア・ミックス方式です。

サイド・ベンチレーターは、ドア・ガラスの曇りを取り除くサイド・デフロスターとしても使用できます。

①吹き出し口切り替えレバー

VENT……センター・ベンチレーターおよびサイド・ベンチレーターから吹き出します。

HEAT……主に足元から吹き出し、サイド・ベンチレーターからも吹き出します。

DEF ……主にデフロスターから吹き出し、サイド・ベンチレーターからも吹き出します。レバーは無段階に調整できます。吹き出し口の風量の割合をお好きなように調整できます。

②内外気切り替えレバー

RECIRC…内気循環式、急速に車内を暖めるとき、または外気がよごれているときなど一時的に使用します。

FRESH …外気導入式に切り替わります。

③温度調整レバー

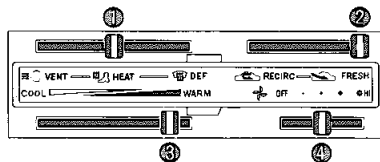
COOLからWARMまで無段階に温度を調整できます。

④ブローファン・レバー

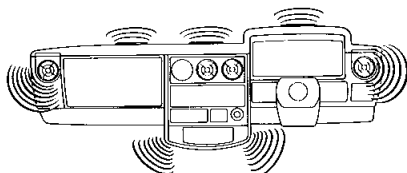
風量を、4段階に調整できます。

室内暖房

〈レバーのセット位置〉



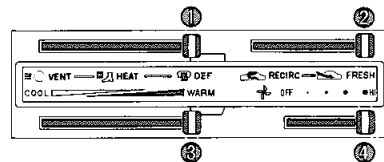
〈温風の流れ〉



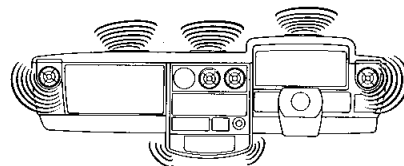
1. 換気をよくするため②のレバーは必ずFRESHにしてください。
2. 顔が少し熱く感じられた場合は③のレバーを左に動かしてください。デフロスター側からの温度が下がり快適な頭寒足熱暖房になります。
3. ④のレバーは一段目からH Iの間で調整してください。

フロント・ガラス、ドア・ガラスの曇りを取るとき

〈レバーのセット位置〉



〈温風の流れ〉

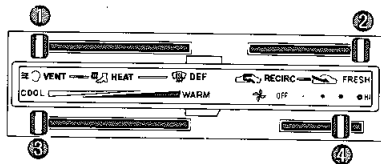


1. サイド・ベンチレーターをあけてドア側に向けると、ドア・ガラスの曇りが取れます。
2. ①のレバーをDEFとHEATの間にすれば、同時に足元も暖められます。
3. 曇りが取れたらHEAT側にしてください。
4. ④のレバーは一段目からH Iの間で調整してください。

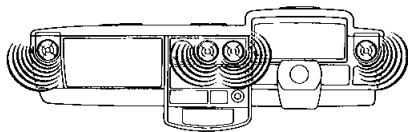
早く換気したいとき

(強制ベンチレーション)

〈レバーのセット位置〉



〈風の流れ〉

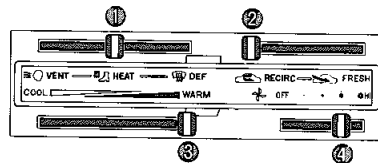


外のさわやかな風がセンター・ベンチレーターおよびサイド・ベンチレーターから吹き出します。

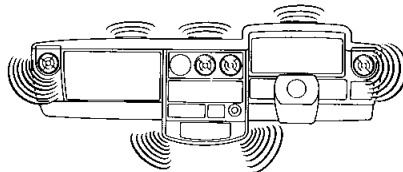
④のレバーは一段目からH Iの間で調整してください。

急速暖房

〈レバーのセット位置〉



〈温風の流れ〉



1. 早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的にRECIRCを使用します。
2. 通常はFRESHの位置にしてください。



②のレバーがRECIRCのとき①のレバーをDEFにしないでください。ガラスが曇り危険です。

■エア・コンディショナー *

ヒーターにクーラーを組み付け、暖房、冷房はもちろん、湿気も取り去るオール・シーズン・タイプです。

1. 暖房操作は、ヒーターの項目を参照してください。
2. 暖房時に(A/C)スイッチを押せば、除湿暖房ができます。

この項目では冷房、除湿の操作について説明します。

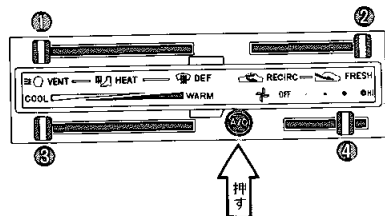
★エア・コンディショナーをクーラーとして使用するとき、ドア・ガラスをしてみてください。

★エア・コンディショナー使用中はアイドル回転がふだんより少し高めになります。

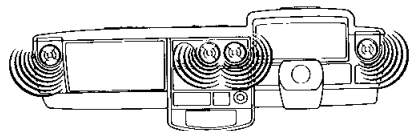
*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

通常冷房

〈レバーのセット位置〉



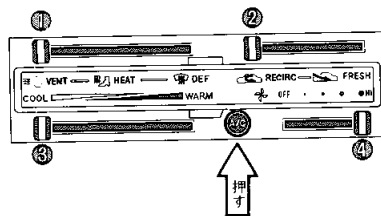
〈冷風の流れ〉



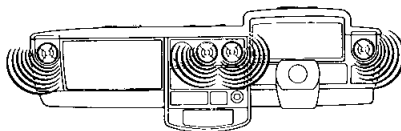
1. 室内の換気をし、湿気を取り快適な冷房をします。通常走行中は、この位置で使用してください。
2. ③のレバーをCOOLからWARMの間で調節し、快適な温度にしてください。
3. ④のレバーは一段目からHIの間で調整してください。

最大冷房

〈レバーのセット位置〉



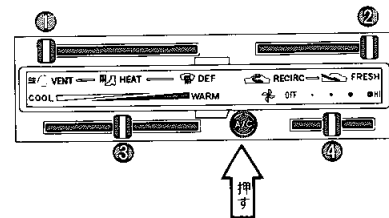
〈冷風の流れ〉



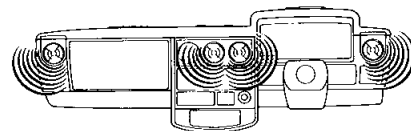
1. 直射日光にさらされ室温が非常に高いとき早く室温を下げるには、全ドア・ガラスを下げ、換気した後冷房してください。
2. なお、この位置で長時間使用する場合は、換気のためときどき②のレバーをFRESHにしてください。

除湿

〈レバーのセット位置〉



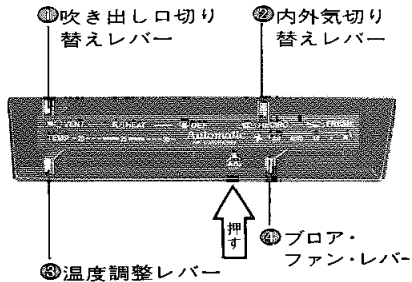
〈冷風の流れ〉



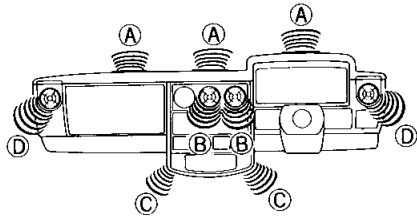
- 雨天時など曇りやすいとき、室内の湿気を取り除きます。
③のレバーはCOOLからWARMの間で調整します。

■オート・エア・コンディショナー

GRANDE車のみ



コントロール・レバーを一度セットすれば、室内を常に快適な温度に自動コントロールできます。



操作方法

1. (A/C) スイッチをONにします。
2. ②のレバーをFRESHにします。
通常はこの位置でご使用ください。
急速暖房あるいは急速冷房したい

ときは、RECIRCを使用してください。

3. ③のレバーをお好みの温度に合わせます。平均室温が希望温度になるように自動的に作動します。
4. ④のレバーをセットします。

OFF…………送風停止

AUTO…………風量が自動的にHIからLOにコントロールされ、希望温度に保たれます。

LO・HI……風量が、手動で3段階に調整できます。ただし、この場合室温は温度レバーの目盛りに対し多少ずれることがあります。

5. ⑤のレバーを切り替えます。
VENT…………強制ベンチレーター・クーラーとして使用するとき
〈吹き出し口—(B), (D)〉
HEAT…………ヒーターとして使用するとき

〈吹き出し口—(C), (D), (A)から少し〉

DEF…………窓ガラスの曇りを取る
とき

〈吹き出し口—(A), (D), (C)から少し〉

冬期に、エア・コンディショナーをヒーターとして使用する場合は、(A/C)スイッチをOFFにしてください。
除湿が必要な場合はONにしてください。

